

しんおんせん

議会だより



のびのびと天高く (大庭認定こども園うんどう会)

平成20年度会計決算報告	2
地域活性化対策予算を補正	7
温泉地域の小学校段階統合	9
浜坂中学校の耐震工事契約	11
委員会視察研修と活動報告	12
ここが聞きたい	16
ふるさと寄稿	22

新温泉議会だよりは、四季折々の色で印刷されており、今号はもみしのオレンジです。

数で認定

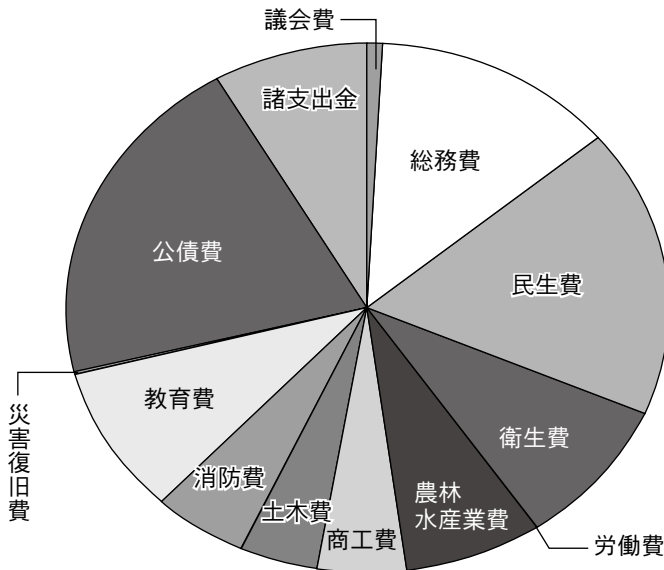
欠席1)

第26回（平成21年9月）定例会は、9月7日に招集され30日間で24日間の会期で開催し、町長から報告案1件、条例案6件、事件案1件、契約案1件、平成21年度補正予算案7件、決算認定案12件の提出がありました。

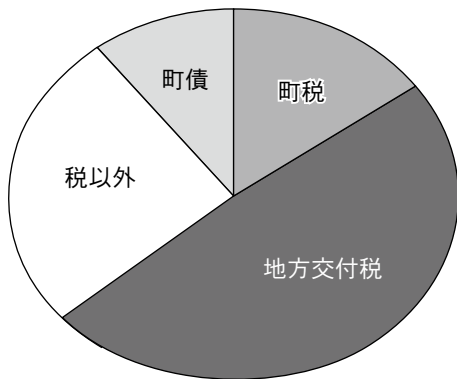
決算認定は、決算特別委員会を設置し、18名の委員で3日間審査を行い、本会議で委員長報告ののち、討論を行い採決しました。議員から委員会条例の改正外1件の提出があり、陳情書1件は、環境福祉常任委員会において調査を行いました。

一般質問は、9月7日・8日に行い、9名の議員が町政全般について質問しました。

支出 構成比



収入 構成比



20年度公債費（借金）の状況

(単位：千円)

区 分	金 額
公債費（借金返済）	18 億 4,732
支出に占める割合	(20%)
町債未償還残高	146 億 78,792
公債費比率（単年度）	19.8%
実質公債比率（3年平均）	18.8%
起債制限比率	13.9%

監査委員の報告

本年度は、国の三位一体改革に伴う税源移譲により自主財源比率は微増となっているが、総枠では地方交付税をはじめとする依存財源が大幅に減少していくなか、財政の硬直化が進む現状において、行政の集中改革プランに基づき更なる行政の効率化・簡素化を進めるとともに、限られた財源を有効に活用する努力が必要不可欠である。また、自己決定、自己責任の果たせる自立した町の確立を目指し、総合計画等にそった執行に努め自主的町づくりを図りたい。

本年度より財源健全化法が実施され、各年度の決算に基づく指標の整備と情報開示が求められる。全ての会計のトータル的な財政状況や財政運営の実態を点検し、改善点があれば速やかに取り組むことを望む。

平成20年度決算 賛成多

一般会計（賛成12：反対5、

平成20年度 一般会計決算額

支 出

(単位:千円)

科 目	項 目	予 算 額	支 出 済 額	構 成 比	不 要 額
議 会 費		1 億 11,673	1 億 11,201	1.2%	472
総 務 費		13 億 59,838	11 億 50,966	12.7%	2 億 8,872
民 生 費		18 億 20,708	17 億 2,610	18.8%	1 億 18,098
衛 生 費		9 億 3,532	8 億 43,747	9.3%	59,785
労 働 費		11,636	11,115	0.1%	521
農 林 水 産 業 費		6 億 8,793	5 億 59,826	6.2%	48,967
商 工 費		3 億 89,959	3 億 62,570	4.0%	27,389
土 木 費		4 億 44,550	3 億 57,779	4.0%	86,771
消 防 費		4 億 54,056	4 億 43,272	4.9%	10,784
教 育 費		8 億 92,851	7 億 76,140	8.6%	1 億 16,711
災 害 復 旧 費		37,736	24,122	0.4%	13,614
公 債 費		18 億 5,925	18 億 4,732	20.0%	1,193
諸 支 出 金		8 億 92,073	8 億 86,132	9.8%	5,941
予 備 費		12,547	0	0.0%	12,547
合 計		97 億 45,877	90 億 34,212	100.0%	7 億 11,665

収 入

(単位:千円)

区 分	予 算 額	調 定 額	収 入 済 額	未 収 入 額
町 税	16 億 3,021	17 億 54,273	15 億 87,394	1 億 60,821
地 方 交 付 税	43 億 36,185	44 億 49,811	44 億 49,811	0
税 以 外	29 億 9,084	26 億 59,808	22 億 30,247	4 億 29,561
町 債 (借 金)	8 億 97,587	8 億 84,687	8 億 78,387	6,300
合 計	97 億 45,877	97 億 48,579	91 億 45,839	5 億 96,682



早期発見早期治療をめざす…特定健康診査始まる



地域の足を確保…町民バスの出発式

決算の質疑

監査の充実を

- 問** 監査機能充実と報酬の見直しをすべき。
- 答** 県下実態調査が実施されたので、検討をしたい。

特養ゆむら

- 問** 特養ゆむらの補助金の根拠は。
- 答** 再建スキームの元本と利息償還である。

- 問** 西ノ垣泉源はどうなっているか。

- 答** 特養ゆむら、ログハウスカナダへ配湯している。

恒久平和式典

- 問** 恒久平和式典の考え方はどうか。
- 答** 戦没者追悼、恒久平和を求める式典とする。

ケーブルテレビ

- 問** ケーブルテレビの告知端末不良品の取り換えはどうか。
- 答** 581件、職員で対応した。
- 問** ケーブルテレビ事業は。収支2千万円の赤字は。

選挙立会人

- 問** 選挙立会人の人選について、公募すべき。身近な選挙について
- 答** は、かかわりのない人を。次回から公募も検討する。
- 問** 行政としての広報関係が含まれているため。



恒久平和祈念式典（夢ホール）

住民生活関連

- 問** 犬の散歩マナーが悪い。
- 答** 立て看板、広報でPRする。
- 問** 鳥獣被害の具体策は。檻の補助を増やすべき。
- 答** 野生動物対策協議会で検討している。免許取得の助成を検討。
- 問** シルバー人材センターの事務費割合は。
- 答** 約10%である。

病院問題

- 問** 浜坂病院の救急医療体制の考え方は。
- 答** 入院もさることながら、救急対応が求められている。

ごみ問題

- 問** 北但広域ごみ処理施設はできるか。
- 答** 反対運動が出ているが、できる見通しである。

建設関連

- 問** 県道池の尾線の開通はいつか。
- 答** 平成25年度の予定。
- 問** 港湾線の県道格上げを訴えるべきだ。
- 答** 港内道路としてとらえていて、すぐには無理だ。

夢公社

- 問** 夢公社の指定管理料値上げの根拠は。
- 答** 入館者が大幅に減少したため。

産業振興

- 問** 水産業者へ行政としてのスタンスは。
- 答** 県の補助メニューと合わせて支援する。

防災関係

- 問** 自主防災組織の実態は。
- 答** 全地域で組織されており、訓練も実施している。

学校関係

- 問** 温泉小学校の湿気問題をどうするか。
- 答** 除湿機対応は一時的で、抜本的対策を検討したい。
- 問** 温泉地域小学校統合は対等ではないのか。
- 答** 吸収合併でなく、対等である。
- 問** 浜坂中学校の英語教師の退職理由は。
- 答** 一身上の都合である。

公民館事業など

- 問** 浜坂地区公民館の勤務時間は。
- 答** 定めていないが、週20時間の目安である。
- 問** 先人記念館は指定管理にしてはどうか。
- 答** 文化的団体があれば、検討したい。

学校給食

問 学校給食の在り方について、教育委員会としてどう考えるか。

答 食育教育の中で検討し方針を出している。

問 給食センターが2か所、どのように考えるか。

答 行財政改革委員会のなかで論議しており、

統合を機会に検討したい。

歳入

問 不用な不動産の売り払いをすすめる有効活用すべきだ。

答 適正な価格で売却を行いたい。

問 物品売り払い収入の整理はできているのか。

答 不要物品を売却していききたい。

問 倒産旅館の報道があったが観光の町としての考えは。

答 イメージが悪くなるが決め手に欠ける。行政として可能なバックアップをしていくが、金融機関との話し合いしかない。

問 滞納税金の処理の考えは。

答 町税の保全是難しい。観光産業への支援をもっとすべきだ。

答 経営者の基本的なスタンスが影響してくるものだ。

問 地域産業を支える政策を工夫すべきだ。

答 安易な手立ては逆効果もあり、行政の支援は難しい。

問 C A T Vの告知端末交換費用をメーカーに請求すべきだ。

答 メーカーと協議を試みたい。

町の観光資源…湯村温泉の荒湯と足湯



反対討論 (谷口 功議員)

20年度、浜坂地域ケーブルテレビ事業等の事業推進を通して、地方自治のあり方、住民の意思をどのように行政に反映させるのかという根本的問題が真正面の課題として突きつけられました。ケーブルテレビ事業では、浜坂地域8千人もの人が署名し「いらない」という意思を明示しました。それを「反対運動があつたからだ、代筆がある」などの言い掛かりをつけ、最も大切な「住民の意思」を汲み上げようとしませんでした。このような「民主的な町づくりを」否定するような態度はゆるされるものではありません。

賛成討論 (中井 勝議員)

厳しい社会情勢の中で、教育・福祉・景気・雇用への対策に重点を置いて予算化された事業について、着実に遂行し、健全財政を推進されたものと評価する。NHK大河ドラマの「天地人」は天の時、地の利、人の和の三要素が重要で、中でも「人の和」が最も大切だと教えている。合併して4年目を迎える町のねらいと相通する点が多い。新温泉町の人々が一致団結して町のすばらしさを多くの皆さんに知っていただくことで「町づくり」に向けた当局の尽力を願う賛成討論とする。

反対討論 (西村銀三議員)

4年間の行政運営を見ると、残念の一言に尽きる。止まらない人口減少、合併後見直すと言いつつながら検討しない。行政の棚卸と言いつつながら実行できない。法令・条例は守らず、人権すら守られたのか。ケーブルテレビ事業署名、薬師湯反対署名など、町民無視の政治手法による平成20年度決算を認めるわけにはいかない。よって反対する。

平成20年度 特別会計決算認定

国民健康保険・後期高齢者医療事業は賛成15反対2
他の9会計は全員賛成で認定されました。

特別会計収入支出決算額

(単位：千円)

会計区分		収入	支出	差し引き
国保	事業勘定	17億56,712	17億22,843	33,869
	照診勘定	39,418	39,418	0
	八診勘定	39,555	39,555	0
	歯科勘定	62,830	62,829	1
老人保健		2億2,654	2億2,654	0
介護保険		12億50,362	12億37,940	12,422
後期高齢者医療		1億82,057	1億78,250	3,807
浜坂地区残土処分場		71,799	55,603	16,196
温泉地区残土処分場		32,910	24,743	8,167
コミュニティ・プラント		1億17,361	1億16,068	1,293
宅地造成		6,328	6,326	2
簡易水道		28,924	22,031	6,893
七釜温泉配湯		16,433	11,790	4,643
下水		9億97,024	9億93,252	3,772

国民健康保険

問 基金を増やすのではなく、取り崩して保険料を下げるべきである。
答 基金を繰り入れをし県下でも安い位置です。医療費の抑制を考える。

後期高齢者医療

問 高齢者にわかりやすい説明をすべきだ。
答 課のレベルアップを図っていく。

問 相手の立場になって考えることである。
答 対応に心がけていきたい。

問 政権が変わり廃止になる、低所得者の対応はどうするのか。
答 今やつとなじみが出てきた。ソフトにお金を掛けたが、今後の方針によって対応する。

問 7・8割の低所得者が困ることのないよう働きかけをすることだ。
答 国の出される方針が決まり次第考える。

反対討論 (谷口 功議員)

国保会計決算認定

20年度は、保険税の年金天引きが10月から実施された。小泉改革が進み国民一人一人の所得は減らされ、社会的負担が大幅に増やされた。年金が唯一の収入となっている高齢者の生活を大きく圧迫するものであり、天引きはあまりに過酷な制度である。

国保会計には基金が貯えられており、この基金を取り崩して保険税を引き下げることには十分可能であるのに、ほんのわずかしかり取り崩さず保険税は現状維持にとどまっている。

町民一人一人の生活実態に即した柔軟な国保の運営を求める。

後期高齢者医療会計決算認定

後期高齢者医療制度は、75歳以上のすべての人を強制的に加入させ、年齢によって差別的医療を行うものであり、直ちに廃止すべき制度である。廃止すれば事務処理に混乱が生ずるとか、一部の人は負担が増えるなどの議論がある。しかし、これまでやってきた老人保健制度に戻せばよいことであり、混乱する要素はない。また、参議院で、すでに可決された当時の野党の廃止法案では、一部負担の増える人への手立ては国が負担すると定められており、加入者被保険者も自治体も負担が増える心配はない。速やかに廃止を求める必要がある。



地域医療をささえる照来診療所

平成21年度 活性化対策予算等の補正 ケーブルテレビ『デジタル化』予算可決

一般会計の主な支出 (単位：千円)

夢 ネット デジタル化	43,286
公立 浜坂 病院 へ 補助	50,000
林 業 振 興 費	80,542
道 路 橋 り よ う 改 良	60,000

特別会計 (単位：千円)

会 計 区 分	追 加	総 額
国 民 健 康 保 険	53,660	1,837,251
老 人 保 健	9,484	15,284
後 期 高 齢 者 医 療	6,030	181,086
介 護 保 険	8,933	1,253,478
水道(債務負担行為)額の変更	67,070	256,700

一般会計収入・支出それぞれ
4億6千293万円追加し、総額を
110億6千855万円とする提案
があり、質疑ののち賛成多数(14：
4)で可決しました。
各特別会計は、賛成多数で可決
しました。

質 疑

夢 ネット

問 夢ネットの告知端末機の取り替えは。

答 これまで970台交換した。そのうちコンデンサーの不良は581台で、この度の検査で500台の交換をする。

問 回収した機器は上がこげている。

答 温度が高くなるが発火はしない。

問 メーカーにリコールすべきだ。

答 不良品として取り替えをしていく。

問 2,300台のうち7割を交換だが残りはどうなる。

答 消耗品として500台で終わりであるが23年までは対応する。

問 デジタル化でBS・CSをしないのはおかしい。

答 対応するには3億円かかるので、独自でパラポラアンテナをあげてもらおう。

問 インターネットのスピードを上げるべきだ。

答 20メガまで上げられるが現在5メガとしている。

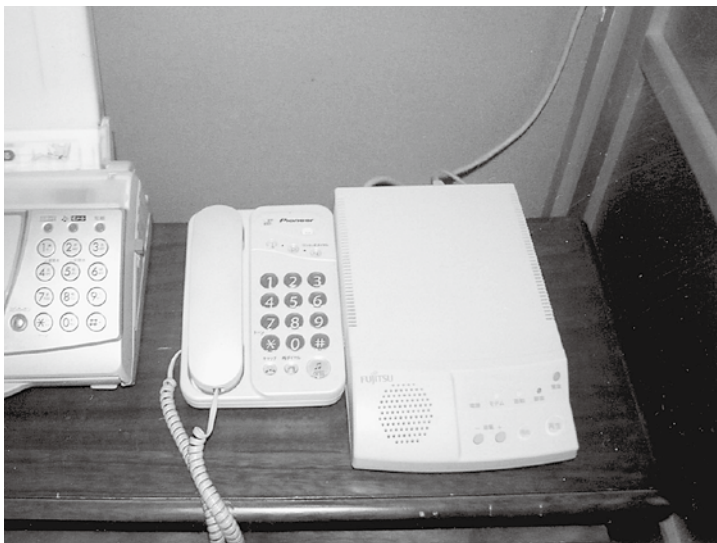
問 料金体系は確立されているのか。

答 デマンド路線は20%の運行である。

問 町民バスの予約制は。

答 町民バスは確立されているのか。

答 維持するためには負担が増える。



ケーブルテレビ告知放送端末機



利用して守る町民バス（浜坂病院前）

問 苦情対応のあり方は。

答 ワンマンだから不備もあるが町が責任を持っていてる。

問 補助金が打ち切られた後はどうなる。

答 22年度末で補助金が切れるが、国・県に要

望している。公共交通を維持するためには利用者には負担をお願いしなくてはならない。

その他

問 女性特有がんの検診はなぜ隔年か。

答 国の方針であり、受

診率を高めたい。

問 子育て支援補助金とは。

答 3歳〜5歳の子供に36,000円を支給するもので対象者は408人である。

問 北但事務組合のごみ処理場の経過は。

答 土地の買収で37.4ヘクタール。反対者には理解を得る努力をしている。施設の概要は今後の協議による。

問 ハザードマップの内容は。

答 今回は久斗川・大枋川の流域についての作成である。

問 ハザードマップ外の河川への対応は。

答 県の計画がないので対応できない。

問 浜坂道路の経過は。

答 ルート決定にともなう調査で、9月中に内容を発表する。

問 教材備品購入費の状

況は。

答 教育費は充実している。

問 政権交代によって公共投資が変化するか。

答 見直し部分には該当しない。

国民健康保険

問 退職者の給付費が高いが、早期発見により医療費を抑えるべきだ。

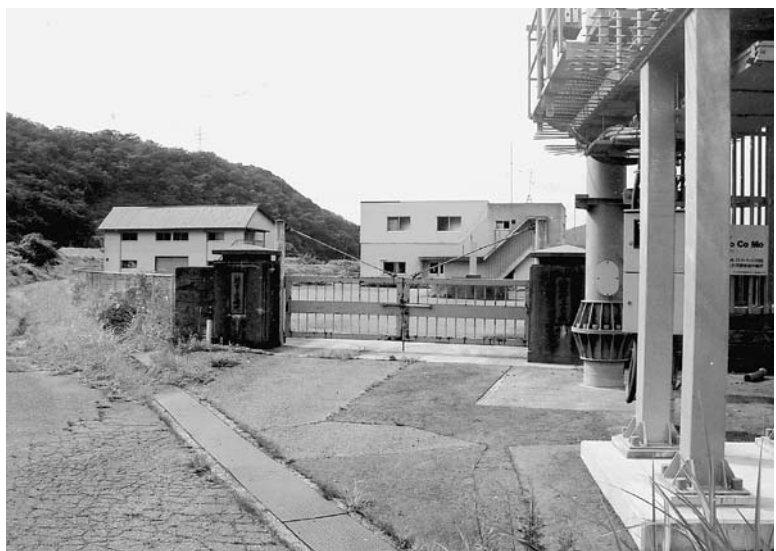
答 検診を多く受けていた、たくさんつとめる。

問 新型インフルエンザのワクチンの助成をすべきだ。

答 町独自で対応することとは難しい。

問 基金を使って子供たちへ受けていただくよう配慮すべきだ。

答 考えていない。



整備を進める浜坂上水道新市水源

水道事業

問 予算の大幅増6,700万円はどうしてか。

答 諸経費は国土交通省に準じたものに変更した。

問 概略設計は正確だったのか。

答 実施設計との差が大き過ぎるが、今後このようなことがないように努める。

温泉地域の小学校再編

段階的に統合

賛成 8 : 反対 7 (欠席 3)



統合校舎となる温泉小学校

平成22年4月1日 温泉・熊谷・春來の3小学校統合

温泉地域の小学校を再編するため、小学校及び中学校設置条例の「温泉・熊谷・春來」の3小学校を『温泉小学校』に改めました。

【参考】

◎再編計画

平成22年4月に『温泉・熊谷・春來』の3校、平成24年4月に『八田・奥八田』の2校が加わる段階的統合が行われます。

◎学校名の決定

温泉地域小学校再編検討委員会が温泉地域全世帯アンケートを実施し、その中から検討委員会が投票し、『温泉小学校』に決定されたものです。

- 問** 再編成統合の準備期間は1年必要と言われている。交流事業は行われるが、不安感をどう克服するのか。
- 答** 10回の交流事業を予定している。曜日を變えて登校形式で行いたい。
- 問** 通学バスの乗降場所など、安全な通学方法を求める。
- 答** 最も安全な方法を検討していきたい。
- 問** 条例の提案は、適切

反対討論

(西村銀三議員)

子どもの出生数を見れば、学校再編の方向は、おのずと見えてくる。

出来たばかりの学校を改造するという無責任なことではよいのか。反省が全くない。さらに常に除湿機を使わなければならない状態は教育環境として最悪だ。

町長に言われてすぐ計画変更をする教育委員会は不安だ。計画性がまったく、同時に子ども達のことを考えない、小学校再編は許せない。

な時期か。

問 交流事業、校章、学校閉校の手続きに対応するために、妥当な時期と理解している。

答 除湿対策と温度差の解消を求める。

問 ランチルームに除湿機を設置し結露は解決できた。

職員の勤務時間 15分間短縮 全員賛成

全員賛成

一般職の職員の給与に関する法律等の改正に伴い、「職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例」など関係4条例の勤務時間を短縮する改正をしました。

◎勤務時間 7時間45分 (現行8時間)

*午前8時30分～12時

*午後1時～5時15分

問 労働時間の短縮で住民サービスが低下しないか。

答 定着するまでは柔軟に対応したい。住民サービスの向上に努めていく。

問 勤務時間が短縮され、時間外勤務が増えないのか。

答 時間外命令が15分早くなるが、業務の効率化を図り時間外の削減に努める。

境地区内に 携帯電話の基地局 全員賛成

全員賛成

境地区内に携帯電話の基地局を新設するため、久斗山辺地総合整備計画を変更しました。

◎事業名

携帯電話等エリア整備事業

◎事業費

29,883千円 (町の負担332千円)

問 通信ケーブルはどちらから引くのか。大味・中小屋の解消計画は。

答 久斗山側から敷設される。ブロードバンドの計画も含めて解消を図りたい。

契約

久斗山浄水施設整備

全員賛成

◎工事内容

膜ろ過などの設置

◎契約金額

56,070千円

◎契約業者

株本建設工業(株)

20年度の財政状況は健全

平成20年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率が監査委員の審査意見を付けて報告があり、全員賛成で承認しました。

① 健全化判断比率

(早期健全化基準値)

*実質赤字比率、連結

実質赤字比率は無し

*実質公債費比率

18.8%(25.0%)

*将来負担比率

167.0%(350.0%)

② 特別会計資金不足比率

浜坂温泉配湯事業・水道事業・浜坂病院事業・簡易水道事業・下水道事業・七釜温泉配湯事業・宅地造成事業の7会計とも資金不足は無し

問 財政は健全状態にあるが、住民要望に對しては財政が厳しいと言われている。考え方を伺う。

答 健全な範囲にあるが、基金の積立額が少なく、財政の弾力性を図るため、更なる改善が必要である。

問 合併前と比べ財政状況はどう変わったか。

答 合併時の基金1億円が4億円になり、さらに浜坂地域が過疎債の対象となり改善された。

出産育児一時金 4万円引上げ39万円

全員賛成

健康保険法施行令などの改正に伴い、国民健康保険条例を改正しました。

◎ 出産育児一時金

39万円(現行35万円)

◎ 適用期間

平成21年10月1日から平成23年3月31日

北但行政事務組合議会 定数3人減 16人

賛成12 反対5
(欠席1)

北但行政事務組合の議会議員の定数19人を16人に改正しました。

◎ 市町別人数(改正前)

豊岡市 10人(11人)

香美町 3人(4人)

新温泉町 3人(4人)

反対討論

(谷口 功議員)

提案理由を「北但行政事務組合議会議員の定数を16人に変更するため」としている。なぜ減らすのか、まともな説明がない。今ごみ問題は、全ての方が日常生活のなかで考えたり、体験している問題である。それは自らの安全、健康、環境、地球の未来が脅かされることに直結している問題である。この重要問題を扱う北但行政事務組合議会の議員定数を理由なく減らすことは許されない。

マリナーポーチ改修し 山陰海岸ジオパーク館

賛成10 反対7
(欠席1)

浜坂海岸の優れた地質遺産や自然を生かして、ジオパークの学習及び普及活動を提案し、自然資源を活用した町づくりを推進する目的で、マリナーポーチを改修し、山陰海岸ジオパーク館にするため、条例で定めました。

*施設の名称
山陰海岸ジオパーク館

*休館日
火曜日

(祝日の場合は翌日)

*開館時間

午前9時～午後5時

*入館料
無料

問 制限行為などは指定管理を想定して柔軟性を持たせるべき。

答 柔軟に対応したい。

問 マリナーポーチの設置目的は終わったのか。

答 マリナーポーチの機能・学習施設を全てなくするのはではなく、必要な展示物は活用する。

問 条例があつて物事が進むと考える。法令を守る行政運営を求めろ。

答 条例が第一と思つている。施設利用は条例可決後行う。

問 条例制定後には、維持管理の予算措置が伴うべきである。

答 マリナーポーチの管理費を年間契約しており、21年度は同じ予算で運営していきたい。

問 ジオパーク認定後4年毎に見直されるが、継続の条件は何か。

答 具体的数値目標はないが、活用への努力が必要である。



「山陰海岸ジオパーク館」オープン

議員発議

議会の各委員会 委員定数を見直し

全員賛成

平成20年の9月定例会において、議員の定数をおおいて、議員の定数を4名削減しているため、宮脇 論議員から常任委員会及び議会運営委員会の委員定数の見直しを行う、「委員会条例」の改正が提出され、全員賛成で改正しました。

◎常任委員会の定数

(改正前の定数)

- ① 総務教育常任委員会 6人(7人)
- ② 産業建設常任委員会 5人(6人)
- ③ 環境福祉常任委員会 5人(7人)
- ◎議会運営委員会 6人(7人)

【参考】

各常任委員会の委員定数については、議員全員協議会で検討したものです。

損害賠償50万円以下 町長専決事項に指定

賛成10：反対7
(欠席1)

宮脇 論議員から「町議会の権限に属する事項で町長が専決処分することができるとの事項の指定について」発議があり、質疑ののち、賛成多数で指定しました。

【提案理由】

地方自治法上、町の義務に属する損害賠償について、その額の決定及び和解を速やかに行い、相手方に対して損害賠償額の支払いまでの期間を短縮し、負担軽減を図るための専決事項の指定を行う。

◎指定事項

法律上、町の義務に属する損害賠償について、1件につき50万円以下の損害賠償額の決定及びその和解に関する事。

【参考】

専決した場合には、議会に報告します。

問 議会の責任を放棄する形になる。議会は追認機関ではない。

答 各自自治体が指定している。専決処分した事項は議会に報告しなければならぬ。

事後でも議会のチェックがよりかかることになる。

問 議員全員協議会にはかり、議員全員で協議した後に提案すべきでないか。

答 議員全員協議会での確認もあろうかと思う。50万円の上限は近隣の市町を参考にした。

陳情書

町営の簡易水道設置を

賛成15：反対2
(欠席1)

久斗山 谷岡松江さん
外4名からだされた『本谷村に町営の簡易水道の設置を求める』陳情書は、賛成多数で採択されました。

臨時会

第25回臨時会が平成21年7月13日に開かれ、6月定例会で否決した工事請負契約について、町長から再入札後の契約案の提出がありました。

浜坂中学校耐震補強工事 請負契約 今度は可決

賛成16：反対1
(欠席1)

浜坂中学校耐震補強・大規模改造工事請負契約の締結は、審議ののち、賛成多数で可決しました。

◎平成21年度の工事
南校舎 2, 896㎡
体育館 1, 488㎡

◎平成22年度の工事
北校舎 2, 556㎡
昇降口棟 2, 283㎡
渡り廊下棟 1, 233㎡

*契約方法 指名競争入札
*契約金額 815,640,000円
*契約相手 株本建設工業(株)

をしたことになるが、誰が責任を取るのか。

答 落札金額に約3,900万円の差があるが、駐車場の舗装など変更し、新たな設計として指名競争入札に付した。

問 地元業者の育成の方針は、今回の問題を明確にして改善を求める。

答 指名委員会には、法令を確認するなかで、明確な判断と妥当な決定を行っていた。



浜坂中学校の現地調査(総務教育常任委員会)

管外行政視察

研修の報告

期 日 7月1日(水)～7月3日(金)

場所 長野県中野市(1市1町が合併)

人口 45,852人

○農業協同組合連合会が福祉医療へ参入した経過と開設の経過について

北信総合病院老人保健

施設「もえぎ」への研修

をし、長野県厚生農業協

同組合連合会が福祉医療

への参入した経過につい

て説明を聞きました。

現在20ヶ所運営してい

るとのことでした。

高齢者福祉に対する取

り組みは積み重ねが大切

であると聞き、新温泉町

も考えなければならぬ

と痛感しました。

場所 新潟県糸魚川市(1市2町が合併)

人口 49,337人

○糸魚川市ジオパークの取り組みについて

山陰海岸ジオパークの

推進を目的として新温泉

町の在り方を研修すべく

糸魚川市ジオパークへの

研修をしました。市長の

歓迎の挨拶で馬場町長の

取り組みに対して情熱を

感じている。一体となり

取り組みたいとのことで

した。

糸魚川市ジオパークは

歴史的経過での取り組み

が世界ジオパークへつな

がっていると思いまし

た。又糸魚川市の「人づ

くりと新市の一体感の醸

成」は重要視すべきであ

り新温泉町も見習う点が

多いと感じました。



糸魚川市ジオパークの取り組み(ジオパーク内)



北信総合病院老人保健施設(もえぎ)

委員会報告

総務教育

総務課

①町会計のバランスシート(貸借対照表)

一般会計の説明を受けた。特別会計は平成22年決算から平成23年に向けて対応していくとのこと。

問 町職員すべてが理解できているのか。

答 現状は担当職員のみであるが、財政健全化に向けては、職員へ説明している。

②定額給付金交付状況

定額給付金の交付については、交付率97.93%で110件が未交付である。町として各課連携して対応をしている。

企画課

①但馬空港等公共交通の利用実績報告

(21年7月末現在)

但馬空港 257人

町民バス(夢つばめ) 5万7,630人

ゆめぐりバス(鳥取行) 2,802人

鉄子の部屋(浜坂駅内) 3,791人

②ケーブルテレビ事業(温泉地域) 状況報告

(21年8月末)

加入数 2,246件

インターネット 602件

CS 10波 347件

衛星劇場 8件

WOWOW 15件

グリーンch 2件

問 告知端末機の故障が多いと聞くが状況は。

答 故障は19年7月から発生している。当初は原因が特定できず町で取り替えていた。専門機関へ調査を依頼した。結果、多くの部分

問 端末機がかなりの熱を発生しているようだが大丈夫か。

答 熱を発生しているが事故にはならない。できれば電話機を上へのせ

が「コンデンサー」の不良と判明。業者と協議し、責任を持って取り替えるよう申し込んでいる。ちなみに21年7月末で581台を取り替えた。

税務課

①21年度徴税等の徴収実績報告

不納欠損や滞納額が多くなっている。対応に万全を期するよう委員会として質した。

ないでいただきたい。委員会としては、告知端末機は重要な機器であり対応に万全を期するよう質した。

社会教育課

①21年度加藤文太郎記念図書館の利用状況報告

②21年度先人記念館の利用状況報告

③21年度八田コミセン利用状況報告

④第15回「前田純孝賞」学生短歌コンクールの報告

⑤「観音山相応峰寺・圓通殿」が県の登録有形文化財に登録されました。

⑥モリアオガエル(森青蛙)の生息調査報告



改造中の浜坂中学校

*教育委員会

学校教育課

①21年度工事発注状況及び進捗率の報告

②温泉地域の小学校再編報告

(1)校名アンケートの実施結果
再編後の校名を「温泉小学校」とすることになった。

産業建設

牧場公園課

①来園者の状況、動物飼育状況、施設利用状況報告（8月末）
来園者の動向は昨年を上回っているとの報告を受ける。
85,310人

建設課

①21年度工事の発注及び進捗状況報告
5件の未発注があるが、2件は今月発注予定。残り3件は設計中であるとの報告を受ける。

⑦第5回新温泉町文化祭の開催
10月29日～11月3日
開催（温泉・浜坂会場）

⑧加藤文太郎記念図書館15周年記念事業
10月3日～11月1日
開催

⑨ビーチバレー大会の実施報告

⑩水泳記録会の実施報告

⑪ビーチサッカー大会の実施報告

⑫スポーツ21の報告

⑬町駅伝大会の統一の報告
来年度から新コースで温泉地域、浜坂地域統一で実施する。

⑭生涯学習推進体制の整備を図るため、新しい指針を策定する旨報告



改良予定の町道二日市古市線

②地域活性化・生活対策臨時交付金事業（21年6月補正分）の進捗状況報告（8月末日現在）
発注 11件
未発注 24件

③町道二日市線の道路改良事業の報告
改良事業の説明の中で、とりわけ計画路線内地権者51名中49名の共有名義の山林があり、内35名が亡くなっており相続関係者が184名との報告を受ける。
一部関係地区に説明をおこなったとの。

④都市再生整備計画（浜坂地区）の変更報告
まちづくり交付金でおこなう整備事業に、追加として、「加藤文太郎図書館」に駐輪場を設置する報告を受けた。

⑤下夕山残土処分場の安全監視の報告

適正な維持管理に努めており、現在は異常なし。

農林水産課

①第4回新温泉町子牛共進会実施の報告
9月14日実施され、90頭の子牛が出場した。それぞれ表彰とメダルが贈られた。

②第3次外国人漁業研修生受入の報告
9月から10名の研修生（インドネシア人）が研修と就業についての報告を受ける。

③町農業資金特別融資制度推進会議の設置要綱の改正の報告

④7月豪雨災害の報告
7月19日発生の被害について報告を受ける。いずれも温泉地域で発生した。
農業施設災害 10件
農地災害 7件

⑤ほ場整備換地処分延滞地区の報告
古市用土地区、温泉西地区（田中）の換地について、地元協議を進め進展を図るとのこと。

商工観光課

①21年度観光施設等利用状況報告
いずれも昨年並みの報告を受けた。

②プレミアム商品券「わくわく元気券」の実績報告
総額3,000万円であったが、6月10日で完売したとの報告を受けた。

③兵庫県の観光交流キャンペーンの実績報告（4月～6月末）
（1）ジオパーク海岸めぐる旅 30名
（2）ジオパークと岬めぐり高原バス 91名

環境福祉

健康課

①21年度国民健康保険事業医療給付費の状況報告

②21年度各診療所の利用状況報告

③国民健康保険高額療養費特別支給金支給要綱の制定

④女性特有がん検診（乳がん・子宮頸がん）の受診の促進

この事業の経費は、厚生労働大臣が定める、国庫補助金要綱に基づき予算の範囲内で実施される。

⑤新型インフルエンザ対策

豊岡保健所に新型インフルエンザの健康相談窓口を開設したとの報告を受けた。

公立浜坂病院

①公立浜坂病院事業の利

用及び経営状況について報告

問 緊急時の受け入れの基準はどうか。

答 緊急患者受け入れ依頼時に状況を確認したうえで医師の判断としている。

問 救急は午後9時以降受入れないと周知しているが、混乱がある。

答 平成18年度から実施している。最近の受入れは、心肺停止状態であったので受入れた。受入れは、人によって判断はしていない。

問 医師確保が最重要課題であるが、状況はいかに。

答 院長を始め職員は、新たな気持でスタートしている。今後、地域医療連携推進室の設置を検討している。10月より豊岡病院から週一回であるが、一名の応援がある。

町民課

①21年度ごみ及びし尿の受入状況報告

問 現在の、ごみ収集袋に對しさまざまな意見がでていますが、検討されたことがあるのか。

答 平成24年度からプラスチック容器包装の分別収集を考えているので、これらと併せて対応を考えたい。

②21年度工事契約進捗状況報告

問 消費生活相談室設置要綱

答 相談業務の職員は臨時職か。10月1日から対応できるか。

問 専門の臨時職員を配置する。研修は順次実施して行く。



浜坂病院の待合室

問 本来なら専門員の研修が終了後、相談窓口を開設すべきだと思うが。

答 臨時職員だけでなく兼任の職員と業務に当たる。その間、50日の研修を予定している。

④新型インフルエンザに係る対策

問 対策の具体的な内容が示されていないがどうか。

答 兵庫県の対策計画に基づき町は、住民への予防対策の啓発、啓蒙情報提供などを実施する。

福祉課

①介護保険事業の給付認定状況さらにユートピアの利用状況報告

②多子^{たし}所帯保育料軽減事業実施要綱の一部改正

③子育て応援特別手当支給事業実施要綱の制

定（平成21年度版）平成21年度においては、小学校就学前3学年の子（平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれまでの子）とする。

その他支給基準の報告を受けた。

上下水道課

①下水道接続率の報告と接続促進にむけた戸別訪問の状況報告

担当課が戸別訪問をして、接続のお願いに努めている旨報告を受けた。

②発注及び進捗状況の報告

委員会として、浜坂温泉2号の源泉補修工事について、ケーシングに歪み^{ゆが}が見られるとのことだが、当初の設計工事に誤りが無かつたか指摘をした。

一般質問

ここが聞きたい

(参考) ケーブルテレビは「CATV」で掲載

4年間の総括は

町長 想定外のこと多くあった



西村 公子 議員

問 平成17年11月13日町民の付託を得て町長へ就任され、住みやすい町づくりをめざされたと思うが、現在の心境を問う。

町長 休むことなく職務に専念させていたのだが約束していることがなし得なかった。一つは浜坂病院の医師確保、2つ目はCATVの延伸でありこれに変わる代案が示しできなかった。新型インフルエンザ等の発生もあり想定外のことが多いであった。

問 浜坂病院、CATVなどに注目しておられる方は多い。6月定例会でも質問されている。最大限の努力とは。

町長 CATVは民間でやることはないと思っている。浜坂地域の防災無線の老朽化への対応、インターネット整備、将来におけるブロードバンドの環境整備の明確化。医師確保は10月、来年の1月に^{しようへい}招聘も決まっているので一定の改善は図られる。

問 町長選出馬について記者会見された。多くの町政課題が山積みしているなかで、町民の安心安全の確立と振興に努めたいといっているが。

町長 浜坂病院の医師確保、CATVのありようは着地点が見えていないが全力で傾注する。過疎少子高齢化の歯止め、地場産業、商店の活性化には具体的手だてを打つことが使命である。

問 これだけは町民の皆さんへ訴えたいことは。

町長 情報基盤を町づくりのツールとして活用し、町の元気、住民の潤いのある生活の実現と保健、福祉、医療の基盤整備。新型インフルエンザへの対応。防災に対する消防機材充実など課題にしっかりと目を向け配り予算配りの対応をする。それが政治であり行政である。



浜坂地域の防災行政情報無線（役場屋上）

4年間の町長の政治手法の点検

町長 概ね対応できたかと判断



西脇 明 議員

問 合併後4年経過し、町づくりについて総括する。但し書きが、入口から問題となつたが、町長は議会提案せず「歩み寄りの結果である」と押し通した。このことが、町づくりに影響したとは考えなにか。

町長 影響が全くなかったとは言えないが、事業によっては住民の理解が得られなかったという事です。

問 毎年予算で町有財産の処分による収入を見込みながら、決算時点では処分ができないことを繰り返した問題はどう考えるか。

問 協議を進めている。環境美化の取り組みで発砲スチロールの具体的回収方策を。

町長 処分できたのが、計画の20%であり、反省すべき点はある。

問 人事考課制度導入は具体化されたが、職員定数管理と専門性配置についてはどうか。

町長 人材育成基本方針に基づいて、専門性を高めるため専門実務研修を強化する。

問 税金の延滞が年々増加し、都度指摘されている。具体的対策はどうか。

町長 税務課職員も増加させ、県の派遣チームによる研修成果もあり、公売など具体的に取り組む。

問 浜坂病院の24時間救急体制と鳥取との連携医療体制など目指すべき方向はどうか。

町長 医師確保が優先で、連携について鳥取中央病院が窓口となり

町長 事業用と家庭ごみを分類して検討する。

問 住民要望と事業推進に関する考え方はどうか。

町長 災害復旧、継続事業、緊急性の高いものから採択したい。

公立浜坂病院の運営改善を

町長 継続努力します



岡本 和雄 議員

問 公立浜坂病院の運営について『検討委員会』の答申として『大綱』が策定されました。病

院職員の意識改革や先進事例の病院の調査研究。さらには医師不足に対する病院長と町長の責任を明確にして運営改善を図るなど町長の考え方を示されました。その後の病院運営について伺う。

町長 大綱を定めることにより浜坂病院の医療体制をより現実的にしていきたい。日南病院の先進事例については、浜坂病院と対比して欠けていることについてははっきりと見直し、議論するように要請しました。医師不足の責任については、行政として結果が評価されていくわけですから、引き続き努力をして実現をすることが責任の取り方とと思っています。

問 民間企業では質のあ

る作業を仕事と言いつ、質のない仕事を作業と言つ。患者は病院を選べますが医者は患者を選べません。患者は医師の治療という質を求めている。今の浜坂病院の実態はそこにあるのではないか。

町長 医師と患者の信頼関係、見立てや処方など一概に断定はできなく、患者が少ないのはドクターの技量が問題であると決め付けるのは問題がある。

問 合併後の2期目の町長へ出馬表明されましたが、公約としてCA TV事業を挙げておられますが浜坂病院の健全経営と医師確保が新聞記事に書かれていない。今以上の改善は無理との判断か。

町長 一期目の約束が果たせていないということ、それは継続して精力的に取り組ませていただくという性格のものです。



売り払い予定の旧浜坂町議会跡地

インフルエンザ対策

町長 予防啓発と関係機関の連携



寺谷 健 議員

問 新型インフルエンザが全国的に流行している。総合的な対策を求めろ。

- ① 予防接種の基準と子どもの接種料の無料化
- ② 認定こども園、学校、福祉施設等の予防と感染対策
- ③ 医療機関の連携と患者の入院対策

町長 ① 一部負担の額を見ながら、全体額としてどの程度になるのかを把握するなかで、前向きに対応して行きたい。
② 町の新型インフルエンザ対策計画に基づいて感染拡大防止に努めて

光ケーブルの整備

若い人の意向把握

問 情報基盤は、ADS Lから光ケーブルに変わりつつある。情報基盤の整備について、町の将来をにう若い人たちの意向を把握して、進める考えはないのか。

いききたい。
③ 病院、広域消防、関係課で連携会議をもって対応していきたい。相談窓口は、健康課に設置する。

在宅介護の支援策

問 在宅介護に対する独自の支援策を求めろ。

- ① 高齢者が高齢者を介護する世帯に対する介護手当の支給制度
- ② ホームヘルパーの養成支援策

町長 ① 新たな制度の創設は、国の制度見直しなどをみながら適切な対応をしていきたい。
② 県の福祉人材確保対策計画とあわせながら人材育成の施策を検討したい。



消火栓による放水訓練（井土自主防災会）

上もあわせて、若い皆さんの意向を受けとめて対応したい。

避難方法の見直し

問 災害の種類によって避難方法は異なる。水害に対する避難方法の見直しを求めろ。

災害の種類によって避難方法は異なる。水害に対する避難方法の見直しを求めろ。

町長 豪雨の際には早めの避難情報を提供し、避難勧告・避難指示・避難命令について周知していきたい。

新温泉町の防災対策は

町長 防災マニュアルにより対応する



鶴田 順久 議員

問 新温泉町の自然災害に対する対応は。

町長 住民への防災対策の簡易版の配布により災害に備えたい。

町長 自主防災会の区町、町内会長が当たっている。

避難場所は

問 避難場所は学校等が避難場所に指定されている場合が多いが学校現場との連携はどうか。

町長 安全性・利便性あるいは収容可能人数を確認している。

防災計画は

問 地域防災計画・水防計画が絵にかいたもちになっていないか。

町長 関係機関で毎年見直しを進めており問題は指摘頂いている。

問 住民へは徹底していない部分が大いにあるが。

町長 備蓄量は、例えば毛布は備蓄倉庫に67枚、浜坂分団の格納庫に225枚もみじホールに50枚等である。

問 避難場所への安全な道路確保・河川等に対

する安全確認はどうか。

町長 区長・町内会長からの情報により把握をする。

問 災害の情報伝達に対する取り組みは。

町長 火災時におきます美方広域消防の伝達が非常に問題ありと指摘をいただいているが、有事の際の連絡、伝達

がおろそかになってはならないと言っている。防災訓練を自主防災会または非常備消防を含め総合訓練があるところである。

問 地域全体を含めての総合訓練は。

町長 西浜地域・居組・諸寄・釜屋の3地域を想定しての総合訓練を10月に設定していきたい。



地震災害を想定した訓練（浜坂北小学校）

政権が変わった影響は

町長 しっかりと注視したい



植田 光隆 議員

問 政権が変わりわが町における現時点の考えを伺う。

- ① 予算、国県等の交付金
- ② 3月末でされる過疎自立促進法の今後は。
- ③ 農業問題で、個別所得保障を考えている。今後は是正対応は財政的にどうなるのか。
- ④ 浜坂道路は計画どおり進むのか。

町長

- ① 基本的な部分は大きく変わらないと認識している。
- ② 全国組織を挙げて要請したい。
- ③ 突然切り替わるとは思わない。今後の推進を

見きわめたい。

④ 予算獲得ができるかしっかりと注視をしたい。

農業振興策

- ① 耕作放棄地の解消を
- ② 鳥獣被害防止計画は
- ③ 二尾山農地利用状況は
- ④ 流通とブランドを確立し安心して生産に取り組めるシステムを

問

① 耕作放棄地の解消を

課長

- ① 正直決め手に欠ける。農業委員で学習検討会、農地パトロールも実施し広がらないよう集団化に向け対応したい。
- ② 鳥獣被害防止計画の中で、捕獲おりの貸出又設置助成も考えている。

町長

- ③ 今年の収穫祭は難し



はやくはやく（ゆめっこランドうんど会）

少子化対策

問

① 新規の利用を幅広く呼びかけたい。④ 流通経路は、予想以上に厳しい。何とか打開策を見出したい。

地域支援と活性化

問 高齢化が進む過疎集落の活性化を

町長 今、具体的に打ち出せていないが、今後は打ち出しをさせていただきます。

① 後退することなく対応していく。

町長

- ② 再度内部協議進めてみたい。

こんな町をつくらう

町長 抜本的な検討をしたい



西村 銀三 議員

食料自給率100%以上に

問 田んぼは10年前の1,627ヘクタールから、今は1,098ヘクタールと大幅に減った。わが町の食料自給率はどうか。この町独自の戦略的農業を推しすすめるべきだ。

町長 自給率は87%である。三ちゃん農業が主流で、なかなか脱却できない。

人口が増える町を！

問 毎年約300人減っ

ている。働く場が必要である。役場の臨時職員を正規職員に登用する制度をつくらったり、新規雇用の誘致として、温泉高校跡地利用など推進しては。

町長 将来人口を考えると、正規職員を増やすことはきびしい。温泉高校跡地利用は3社に打診したがむづかしい。

問 地域内循環で活性化を。町の予算は約130億ある。この10年で小売店は100も減り230店となった。八頭町では10%以内なら地元で購入する制度を作って地元を大事にしているが。

町長 大型店を誘致した訳ではないが、今後抜本的な検討をしたい。

浜坂病院再興を

問 現在一人暮らしのお年寄り10年前と比べて300人以上増えて841人、夫婦2人暮らしは701世帯あり、救急受入れ体制が急務だ。又、町の責任で医師を養成するなど長期展望をもつべきだ。

町長 来年1月から八田診療所兼務の医師がくる。今より良くなる。

民主党新政権とどう向き合うのか

町長 真正面に向き合う



高橋 邦夫 議員

問 先の総選挙において民主党政権が誕生した。政権交代がもたらす変化は不透明なところがある。地方自治体

も今日までのような国や県の下部組織であるかのような行政手法は通用しないと思う。「子ども手当」や「高速道無料化」などを歓迎しないむきもあるが、「地方の疲弊」「官僚主導と中央支配」に対して国民判断が明確に示さ

れた。今日の状況について町長はどう受け止める、今後の行政運営をどう図るのか。

町長 一番大きいのは、一回変えてみようという流れであった。近代経済から考えると民主党のマニフェストは個人消費、購買力を喚起し、景気の底上げをする手法であり、実現には困難性があると思う。

地方自治体としての課題に声を上げよ

問 新政権は短命に終るなどと思つて今日までと同じスタンスでの行政運営はあり得ない。地方自治体も変わらなければ、町民生活も守



地産地消でにぎわう…浜坂朝市

れない。今まで以上に知恵をだし、町民が一体となって取り組むことが大切である。「道路特定財源」や「ポスト過疎法」の見解を伺いたい。

町長 道路特定財源は当町で3,100万円程度となつてはいるが、廃止ならそれに代わるものを示して欲しい。過疎法も大きく様変わりすると困る。新政権と真正面に向き合い、これは違うと思う所はきちつと申し上げていきたい。



町づくり交付金事業で自転車置場整備
(加藤文太郎記念図書館)

問 陳情政治や国の補助メニュー頼りの行政運営は、もはや通用しない。自治体がしっかりとしたビジョンを持ち、国へ提案し認めさせる手法が必要である。

町長 補助申請をしたらあれしろ、これしろと言ふようなことはないと思う。あくまで自前で計画、立案して要請していかねければならないが、補助スキームは残ると考える。自治体にとって有利有益なもの採択を願いたい。

高齢者に安心を

町長 一定の手だてをしている



谷口 功 議員

問 年金の受給額1ヶ月平均4万円程度の高齢者にとつて、医療費負担が重く、「これまで千円札1枚あれば足りたのに、一万円札がなければ医者にかかれなくなつた」とこぼされます。この不安に応えるべきだがいかがですか。

町長 後期高齢者医療制度は廃止すべきだが、実務処理が混乱すると不安があるようですが、今までやってきたことに戻せばよいことですから心配には及ばないと思うが。

町長 そうなればという思いと、そうなつたら困るといふ思いが交錯している。

浜坂病院の再建に全力を

問 浜坂病院の医師確保に大きな期待が寄せられているが、むしろ後退している実態がある。どのように考えているか。

町長 否定するものではない。場当りだつた嫌いがある。持続可能



商店街活性化へ…荒湯天狗まつり

な信頼される病院づくりにがんばりたい。

中小商業に支援を

問 中小企業には次の4つの良い特色がある。
① 目先の利益追求でなく、雇用確保や社会貢献、地域の皆さんに認められる努力をしている。

② 地域経済への波及効果が大きく、もうけが地域経済に還元されて

いる。

③ 優れた物づくりの技術を持つており、かけがえのない経済や文化的価値がある。

④ 地域経済に根ざし社会的責任を果たしている。この中小商業へもっと支援をすべきだ。

町長 手ぬるいところ指摘だが、責任を持つてやっていく必要がある。



さし絵 清水伸子氏



郵便事業株式会社
前京都支店長（元京都中央郵便局長）

山本 貞行

奈良県在住
（飯野出身）

ふるさとの山は時空を越えて泰然としている

ふるさとと新温泉町を離れ40年余が経過した今の私としては、ふるさとにずっと住んでおられる方々の切実な願いと、ふるさとを離れた以降、観光客のような立場で帰省する私とでは、町政等へ期待するものに違いがあるのは当然のことと思っています。過疎化の進展、人口の減少、厳しい財政事情の中で、住民の方々の利便性等元氣の出る施策を実現していくことは大変なことと推察いたします。

一方、私の生地「照来」に帰省した時などに見る山々は40年余の年月を経ても（正確には悠久の昔から）泰然と静かに存在していることに「ほつ」とするのです。時間に追いかけられ、いつも急ぎ足で、若干疲れながら過ごしている状況は、言わば、ゆったりと進む「ふるさと」時間と、せわしなく進む「都市部」時間があるような錯覚にさえ陥ってしまいます。

さて私は、この数年間、個人的には郵便局勤務の総仕上げをしてきたように思っています。
平成19年4月にJR京都駅前の京都中央郵便局長として勤務し、その年の10月には民営化になり郵便事業株式会社京都支店長へ転出、そして今春3月末に定年退職いたしました。今は、郵便事業株式会社本社専門役（エキスパート社員）の立場で、近畿及び中国支社内の支店の経営アドバイザーのような仕事をしています。

近年但馬方面出身の方が近畿の郵便局に多数勤務されており、その勤務ぶりには、大変真面目で優秀な方が多く、将来を期待するものです。ただ少し気になることは、ご当人はすっかり考えた方を持たれており十分理解されている様な場合でも発言を遠慮する方が比較的多いということですね。是非、キッチリ自己主張することに慣れて、明るく元氣に大きな声で自らをアピールするなど情報発信されることを、特にこれからの若い方々に期待しております。

最後に、ふるさとの「外」に住む者として新温泉町にお住まいの方々の倅せと地域のご発展を心からお祈り申し上げます。

議会日誌

トピックス

- （7月）
17日 広報調査特別委員会
31日 総務教育常任委員会

- （8月）
5日 議会運営委員会
" 全員協議会
20日 産業建設常任委員会
26日 総務教育常任委員会

- （9月）
2日 議会運営委員会
7日～30日 第26回定例会
8日 全員協議会
10日 産業建設常任委員会
11日 総務教育常任委員会
15日 環境福祉常任委員会
24日・25日・29日
決算特別委員会（3日）
(24日)

- （10月）
7日 広報調査特別委員会
15日 広報調査特別委員会
19日 広報調査特別委員会



▼9月は浜坂地域・温泉地域の幼稚園、小学校、中学校で秋季大運動会が開催されました。秋空の下元氣いっぱい演技に取り組み姿に保護者、多くの方々の力一杯の拍手が送られていました。
▼今年は降雨の多い年であり、米の収穫の減少になったとお聞きしました。ご苦労さまでした。
▼ふるさと寄稿に執筆いただきました、山本貞行様ありがとうございました。ごさいました。
▼議会だよりも今号を持って4年間の広報委員会としての任務を終えさせていただきます。この間議会だよりへ暖かいご協力ご支援をいただきました町民の皆様へ議会広報調査特別委員一同心から感謝とお礼を申し上げます。11月からは新体制として発足されるわけです。益々のご活躍を祈念申し上げます。
ありがとうございます。

広報調査特別委員会

- 委員長 西村公子 健 要 義 明 之
副委員長 寺谷 田中 小林 西脇 小林
委員 田中 小林 西脇 小林

発行者 議長 田村 昭